

『公共工事におけるコスト構造改革プログラム』をうけて

コスト縮減新技術普及—納税者からの応援の“輪”・・・(案)

納税者応援の輪実行委員会
事務局:大阪市東淀川区東中島 1-13-35
TEL:06-6325-5783
URL:http://www.jos-s.co.jp
世話人: 永見博希

公務員の皆様が私達納税者の為にそれぞれの立場で行財政改革に取り組み、日夜大変な努力をされている今日、私達納税者もそれぞれの立場で応援しようではありませんか。

まず、近年の地球規模に於ける自然災害の脅威的な被害増加に対して、平成13年の『土砂災害防止法』施行に伴い行政の『知らせる努力』と住民の『知る努力』で土砂災害による人的被害をゼロにすべく対策がスタートしています。

ソフト面では、各都道府県内の土砂災害ハザードマップも公表され実に**全国33万156箇所**にのぼる急傾斜地崩壊危険箇所が日々私達の生活を脅かしております。

この事実を知り得た私達に出来ることは、災害時、自己責任による早めの非難は当然であります。しかし、生活弱者を守る為には、やはりハード面つまり土砂災害防止工事の緊急かつ、永続的な社会基盤整備が必要です。

地方行政も国の『財政構造改革』をうけて『財政改革基本方針』を策定し徹底したコスト縮減をするなかで、公共事業における「優先分野」として「土砂災害などの防止」が選定されています。

『公共工事におけるコスト構造改革プログラム』の具体策として国の『新技術活用システム NETIS』を取り入れると共にそれぞれの政策を立ち上げ『民間の新技術活用』、『市場単価方式の拡大』などに取り組んでおられます。

それに伴い、平成16年4月より設計業務共通仕様書1209条を改訂し川上段階で新技術の検討活用をすることで私達の血税を有効に活用するため、各自治体において予算執行に頑張ってもらっています。そこで私達納税者も『財政健全化基本方針』に理解を示し、公共事業の真の発注者である私達納税者も昨今の公共事業への批判をするばかりでなく、頑張ってもらっている技術職員の皆様に『コスト縮減新技術普及のため—納税者からの応援の輪』としてエールを送ろうではありませんか。

皆さんの温かい応援を受けて、予算執行職員の方々も新技術活用によるコスト縮減に取り組み、**さらに余った予算で貴方の身近な危険箇所の防災工事を執行して頂ける訳です。**つまり、私達国民の『安全・安心の確保向上』につながることでありますのでぜひ参加していただき“輪”を広げようではありませんか。

<新技術活用によるコスト縮減事例～皆様からの情報お待ちしております>

国交省:コスト構造改革プログラム再延長閣議決定

08年度からの5ヵ年最終12年度末で07年度比15%コスト縮減